

ISSN 2186-5655

科学研究費研究助成基盤研究 (B) 成果報告書

日本語コミュニケーション 研究論集

第 1 1 号

2022年3月

日本語コミュニケーション研究会編

目 次

話題転換とポライトネス

—話題転換に用いる接続表現—

牧原功（群馬大学）…………… 1

「てくれる」構文とポライトネス

李 奇楠（北京大学）……………13

値下げ交渉談話における「限定表現」と「非限定表現」の使用

—ポライトネス理論の観点から—

劉 海燕（東北大学大学院生）……………23

ジェンダーに関わる表現「女子力」の考察

—「女子力」に対する評価における語彙・表現を通して—

馬 雯雯（中央民族大学）……………33

非仮定条件文における日本語学習者による条件形式の使用実態

—I-JAS のストーリーテリングのデータの分析から—

レー・ティ・トゥー・ハー（Le Thi Thu Ha）（筑波大学大学院）……………43

オンラインでのピア・レスポンスにおける助言表現

—学習者の《助言》の伝達方略の傾向—

齊藤幸一（大阪電気通信大学） 嶋田みのり（東北学院大学） 宮原千咲（広島修道大学）

……………53

補助動詞「ておく」の使用が示す配慮

大和啓子（群馬大学）……………63

議論の場における「不同意」に関する一考察

—対人配慮の観点から—

王 昌（筑波大学大学院）……………71

日本語の配慮表現とその中国語訳からわかること

李 丹（創価大学）……………81

日本語配慮表現データベース構築プロジェクト報告(4)

—2021 年度の活動報告—

山岡政紀（創価大学）……………91

CEFR の文脈化と日本語・日本語教育研究への応用(1)—2021 年度の活動報告—

—2021 年度の活動報告—

小野正樹（筑波大学）……………103

日本語コミュニケーション研究論集 第11号

発行 2022年3月1日

編者 日本語コミュニケーション研究会

編集担当 小野正樹

〒305-8571 つくば市天王台1-1-1 筑波大学人文社会系

E-mail: ono.masaki.ga@u.tsukuba.ac.jp

印刷 筑波印刷情報サービスセンター協同組合

代表 岩瀬 春樹

〒300-4111 茨城県土浦市大畑565-2

謝辞 本研究論集は以下の科学研究費補助金・研究助成を受けた研究課題の成果報告書です。
ここに謹んで謝意を表します。

基盤研究(B) 課題番号 18H00680 2018-21年度

研究課題：日本語配慮表現辞典の基盤形成のための配慮表現正用・誤用データベースの構築

研究代表者 創価大学 山岡政紀

基盤研究(C) 課題番号 17K02840 2017-21年度

研究課題：日本語学習者のポライトネスに関わる言語運用についての基礎的研究

研究代表者：群馬大学 牧原功

基盤研究(B) 課題番号 21H00534 2021-24年度

研究課題：CEFRの文脈化と日本語・日本語教育研究への応用

研究代表者 筑波大学 小野正樹